

<夏休みを迎えるにあたって>

コロナによる臨時休校明けから2ヶ月が過ぎました。1年の1/3が過ぎたこととなります。今までの日常が一変し、さまざまな苦難をのり超えながら、この4か月を過ごしてきました。コロナの影響から「できない」で終わらせるのではなく、「何ができるか」「どうすればできるか」を考え、前を向いてきました。今日渡される修学旅行、野外活動の最終案も何度も打合せを重ねて、中止ではなく今できる最大限の内容を考えました。

困難にぶつかったときに、逃げるのではなくしっかりと向き合っていく強さ、コロナに負けない強い気持ちを持って粘り強く感染対策に取り組んできた姿勢、目標としていた中総体がなくなっても部活動に前向きに取り組んだことは、必ず将来につながります。皆さんの目標は社会に出て勝負できる人になることです。

このコロナ禍においても多くの事業所の方がキャリアインターンシップに協力してくれました。多くのことを学んで自分の将来をイメージできるようになってください。

今有志の人達がリーダー研修を行い、「未来デザイン研究所～10年後の秋保～」をテーマに、今の秋保が抱えている課題を出し合い、10年後の秋保の将来像を提案する準備を進めています。9/10の全校授業では、専門家の方からアドバイスをもらいながらパネルディスカッションを行います。

休み明けにはほうねん座の皆さんの指導で和太鼓と篠笛に取り組み全員が卒業までに太鼓や篠笛の演奏を人前で披露できるようにします。

明日からの夏休みの11日間。コロナの感染予防はもちろんのこと、川遊びなどの水難事故や交通事故、また、犯罪等に巻き込まれないよう、防犯教室で教わったSNSの使い方などにも、十分に気をつけて、12日後には、元気な、いい顔で皆さんと再会したいと思います。